



みなみ風

学校教育目標 人間力を高め、未来にはばたく児童生徒の育成

合言葉

私たちの最上位目標は、子どもの幸せ

学園だより

令和5年10月30日 第19号 みなみ学園義務教育学校

【深まる秋・11月の予定】 11月

- 1日(水) いばらき教育の日 チャレンジテスト(前期課程)
日本ウェルネス高校との合同あいさつ運動
縦割り班あいさつ運動9班 6年生福祉教室
- 2日(木) 9年生実カテスト
- 3日(金) 文化の日
- 6日(月) 全校集会(表彰等) 委員会活動
- 7日(火) 5年生校外学習(バス工場見学他 栃木方面)
- 8日(水) 9年生食に関する指導
- 9日(木) English Time(7~9年生) 手をつなぐ子らの親睦交流会
- 10日(金) 読み聞かせ1~3年生 後期中間テスト(後期課程)
学校徴収金口座振替日 ゴルフ部保護者会
- 13日(月) 茨城県民の日(学校閉庁日)
- 14日(火) 水泳学習(7~9年生)
二者・三者面談(20・21・22日も)
- 15日(水) 創立記念日(学校閉庁日)



- 16日(木) English Time(4~6年生)
水泳学習(7~9年生)
- 17日(金) みなみフェスティバル
- 21日(火) 清潔調べ 7年生第2回家庭教育学級
校内持久走大会(前期課程) ※予備日27日
- 23日(木) 勤労感謝の日
- 24日(金) 読み聞かせ4~6年生 1年生食に関する指導
- 25日(土) 茨城県芸術祭児童生徒美術展覧会
(ヒロサワ・シティ会館~29日)
- 25日(土) 笠間市教育研究会主催児童生徒美術展覧会
(茨城県陶芸美術館~26日)
- 28日(火) 読み聞かせ7~9年生
- 29日(水) 6年生校外学習(国会議事堂他)
- 30日(木) チャレンジテスト(前期課程)
English Time(1~3年生)
6年生薬物乱用防止教室

※ ちなみに、冬季休業前終業日が12月22日(金)、冬季休業明け始業日は、令和6年1月9日(火)になります。

10/24(火) 不審者対応避難訓練が行われました

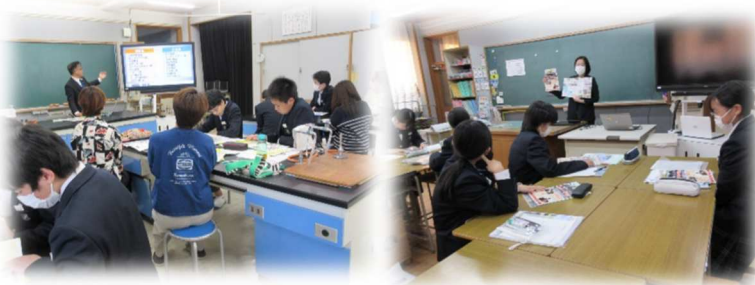


不審者侵入、そして確保



突然校内に響く不審者の怒鳴り声。制止する先生の声。荒々しく大きな怒鳴り声に、子どもたちも緊張感をもったことと思います。臨場感たっぷりの不審者対応避難訓練を、3年生から9年生までの子どもたちは自分事としてとらえ、とても真剣に避難することができました。今回の避難訓練は、笠間警察署生活安全課スクールサポーターの中村様、北吉原駐在所の宮本様のお力添えにより実現しました。宮本さんは、「避難訓練は、訓練だからこそ、より真剣にやること。残念ながら、不審者はいます。不審者にあつたらとにかく逃げること。逃げること。絶対逃げること。」と話してくださいました。また、中村さんからは、不審者対応の合言葉「いかにおすし」について、改めて説明していただいたことで、子どもたちは、不審者について気持ちを引き締めることができました。

10/27(金) あと5か月で卒業! ~9年生が進路目標の実現へ~



この日は、県内県立・私立高校合わせて17校の先生方をお迎えして進路説明会が行われました。参加したのは、9年生の生徒並びに9年生の保護者、そして早期進路対策として、8年生です。子どもたちは、それぞれなりたい自分に向かって自分の進路を決定していかなければなりません。これまでも高校調べや高校見学など、進路についての学習を行っていますが、子どもたちは、高校の先生方からの具体的な説明を、メモをとりながら真剣に聞くことができました。

10/25 (水) 3・4年生が第2回歩く会に参加しました



学校の周りの史跡や施設などを巡ることで地域に愛着をもつことや、仲間とともに行動することで達成感と一体感をもつことなどを目的として、5月に5・6年生が第1回歩く会を行いました。この日、今度は第2回歩く会として、3・4年生が、ほぼ同じコースを訪れました。まず、アメリカの大学教授（お医者様でもあります）兼陶芸家である「エミールさん」宅に向かいました。ここでは、テレビ東京の番組「Youは何しに日本へ？」の収録を行っていました（来年1月か2月の放映だそうです）。エミールさんは、ろくろを使って器を作ってくださったり、焼き窯を見せてくださったりし、子どもたちは大喜びでした。また、エミールさんは、子どもたちに「笠間焼が大好きなこと、近所の人たちが優しく助けてくれるのでうれしいこと、失敗しても何度でも挑戦すること・勉強すること」などと話してくださいました。子どもたちからは「どう焼くんですか？」などという質問も出て、素晴らしい学びができました。最後に、エミールさんと握手を交わし、子どもたちは、鹿島香取神社へ向かいました。ここでは、学校運営協議会会長の中村直人さんが、神社とお寺の違いや「二拝二拍手一拝」というお参りの仕方などを教えてくださいました。学校に戻ってきてから「二拝二拍手一拝」をやって見せている子どもたちの様子が、とてもかわいらしかったです。秋晴れのもと、こうして季節を味わいながら、地域のよさに触れることができ、素晴らしい経験になりました。次の1・2年生と地域の方々との活動も、子どもたちの発達段階を考慮しながら実施したいと思います。

10/25 (水) 8・9年生が「生命の安全教育」について学びました



小・中・高校で「生教育」の講演会を1,300回以上行っている龍ヶ崎済生会病院産婦人科部長の陳央仁先生。陳先生は、命と自分自身を大切に生きていくことやみんな愛されるために生まれてきたことを私たちに伝えてくださいました。命を授かることは奇跡であること、命に感謝することは親に感謝すること、おなかの中の赤ちゃんはお母さんと一緒に頑張って生まれてきたこと、誕生日にはお母さんに「産んでくれてありがとう」ということ、などという陳先生の一言一言は、子どもたちの心にしみ込んだことと思います。8・9年生対象の講演の後、保護者対象の講演も行われました。家庭で「ありがとう」をたくさん伝え合うこと、赤ちゃんの頃の写真やアルバムをしてみることで、子どもを抱きしめること（恥ずかしさで逃げられたら、それでもいいそうです）など、家庭のあたたかさを、今まで以上に大切にしよう話してくださいました。講演会の後の、子どもたちの感想を紹介します。

- ・「陳先生の話聞いて、もっと自分を大事にしよう、そして他人も大事にしよう。異性をもっと大切にしようと思いました。」
- ・「幸せに生きるために、考え方をよい方向に変えてみようと思いました。」
- ・「『愛』とは、相手を大切にし、相手を守ることと聞いて、深く考えることができた。」

子どもたちが「生」ということについて、新しい視点をもてたことが、とてもうれしいです。

(文責：野尻)